

# 「小笠原研究年報」投稿要領

2023. 5. 2 改訂

「小笠原研究年報」では、主として、様々な分野・機関での研究の交流と、本学の小笠原研究成果などに関する情報を広く一般に提供する。投稿に際しては、希少生物等の保全に対して十分配慮すること。

## 【原稿の体裁と執筆要領】

### 1. 原稿の構成

原稿はワープロソフト (Microsoft Word) を使って作成する (A4 横書)。原稿は 1 行 36 字×1 ページ 31 行とし、ページ番号を打つ。また、原稿の左側に 1 ページ目から通しの行番号をつける。体裁については、【小笠原研究年報のひな形】の項目を参照されたい。

#### 1) 表紙

タイトル、著者名、著者のローマ字表記、著者の連絡先 (住所、電話番号、ファックス番号、E-mail アドレス) を記入する。

#### 2) 本文 1 ページ目

1 行目にタイトル (中央揃え) を書く。2 行目は空白とし、3 行目以後に著者名 (所属) を記入する (共著者が 3 名の場合は 3 ~ 5 行目に記入)。著者名 (所属) の後に空白行を 1 行入れる。

#### 3) 要約

要約は 300 字以内とする。

#### 4) 本文

本文中ではカンマとピリオド ( . , ) ではなく句読点 ( 。 、 ) を使用する。ただし、本文中の文献の引用と引用文献はは 3. と 4. に準ずること。

本文中の見出しは以下のようにする。

要約 (センタリング)

I . はじめに

II . 材料と方法

1. 調査地の概要

さらに細かい小見出しは著者にまかせる。

Ⅲ．結果

Ⅳ．考察

謝辞

文献（センタリング）

## 2. 単位・数量の書き方

メートル法に準拠する（例：1/3、10%、15 m、40 km、63 g、3.5 t など）。

## 3. 本文中での文献の引用の仕方

上付きの<sup>1</sup>などは用いない。日本語文献は、著者が2名以下の場合は「伊藤（1993）、内田・松田（1990）によると・・・」、著者が3名以上の場合は「木村ほか（1993）によると・・・」のように引用する。文末の（ ）内での引用は「・・・が知られている（内田・松田、1990; Wilson *et al.*, 1992）。」や「・・・である（上田ほか、1993）。」のように引用する（*et al.* はイタリックで表記。（ ）内の複数文献は半角のセミコロンで区切る）。

欧文文献は、Balford & Thomas（1992）、3名以上は Burleu *et al.*（1982）のように引用する。文末の（ ）内での引用は、「・・・が知られている（Balford & Thomas, 1992; Wilson *et al.*, 1992）。」のようにする。

私信は引用文献リストには含めない。本文中では「・・・が観察された（可知 直毅氏による私信、2020）。」や「可知 直毅氏（私信、2020）によると、・・・が観察された。」のように記述する。

## 4. 引用文献の書き方

文献の言語にかかわらず第一著者の姓をアルファベット綴りした場合の、アルファベット順に並べる。同じ著者名が続いた場合も省略しない。日本語の文献の場合、著者の姓と名の間を半角空ける。雑誌名や Proceedings のタイトルは省略しない。日本語・英語の文献に関わらず、括弧、カンマ、ピリオドは半角とする。

### 日本語の論文

町田 洋・新井 房夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出したテフラアカホヤ火山灰. 第四紀研究 17: 143-163.

### 日本語の報告書

加藤 芳郎・宇津川 徹（1981）父島の土壌. 小笠原諸島自然環境現況調査報告書(2). 東京都, 133-142.

#### 日本語の単行本

町田 洋・新井 房夫 (1992) 『火山灰アトラス』 東京大学出版会, 276p.

#### 日本語の単行本の一部

黒田 直 (1992) 土壌. 小笠原自然環境研究会 (編) 『フィールドガイド小笠原の自然—東洋のガラパゴス』 古今書院, 46-51.

#### 日本語のオンラインの情報

小笠原村 (2020) 小笠原村公式サイト. <https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp/> (最終閲覧日: 2020年2月22日)

#### 欧文の論文

Aubry MP, Berggren WA & Kent DV (1988) Paleogene geochronology; An integrated approach. *Paleoceanography* 3: 707-742.

雑誌のタイトルはイタリックにする。

#### 欧文の報告書

Olsen RR & Cameron JL (1993) Larval development of the pencil urchin. *Proceedings of 6th International Echinoderm Conference*, 807p.

報告書のタイトルはイタリックにする。

#### 欧文の単行本

Fagri K & van der Pijl L (Eds.) (1979) *The Principles of Pollination Ecology*. Pergamon Press, 500p.

本のタイトルはイタリックにする。

#### 欧文の単行本の一部

Hori R, Pang VPE & Jin LT (1991) On the pattern of gonadal development of the sea urchin. In: *Biology of Echinodermata* (Ed. by Yanagisawa T, Yasumasu I, Oguro C, Suzuki N & Motokawa T), CRC Press, 249-255.

本のタイトルはイタリックにする。

#### 欧文のオンラインの情報

Plummer M (2018) rjags: Bayesian Graphical Models using MCMC. R package version 4 - 8. <https://CRAN.R-project.org/package=rjags>, Accessed 24 April 2019.

## 5. 表

表は1つずつ別紙に書かなければならない。1つの表は原則として1ページに印刷できる大きさとする。1ページを越える表については2ページ以上に分割する。表のタイトルと説明は各表の先頭を書く。各表のタイトルと説明は、まず「表 1」(MS ゴシック)と書き、ついでタイトル (MS ゴシック) を挙げたのち改行し、本文を読まなくとも理解できる程度に説明

(MS 明朝、英数字は Times New Roman) を加える。

## 6. 図

図は 1 つずつ別紙に書かなければならない。図は、そのまま製版できる状態のものを本文の最後に順番に添付する。図は、著者に渡す PDF 版ではカラーである。印刷物でカラー図版を希望する場合は事前に編集委員会に相談すること。図の説明は別紙にまとめて書く。各図のタイトルと説明は、まず「図 1」(MS ゴシック)と書き、ついでタイトル (MS ゴシック) を挙げたのち改行し、本文を読まなくとも理解できる程度に説明 (MS 明朝、英数字は Times New Roman) を加える。

図の作画者や写真の撮影者が著者と異なるときは、そのことを明記し、また必要な場合は、著者においてあらかじめ著作権者の許可を受けておくこと。

### 【小笠原研究年報のひな形】

小笠原研究年報のひな形は、小笠原研究委員会のホームページの「刊行物」(<https://www.tmu.ac.jp/ogasawara/>) からダウンロードできる。「小笠原研究年報」のひな形は AuthorsGuidelinesAnnual.doc である。

### 【投稿と編集】

原稿べ切は原則として毎年 1 月 20 日である。原稿の掲載可否は編集委員会で決定する。原稿は E-mail の添付ファイルあるいは CD-R 等で編集委員会宛に送付する。なお、添付ファイルの上限は 10MB とする。本文は Microsoft Word で作成し、1 つのファイルにする (一太郎等で作成した場合は Word 形式に変換する)。使用するフォントは、小見出しは MS ゴシック、それ以外は MS 明朝 (英数字は Times New Roman) とする。表は Microsoft Excel で作成する。複数の表が存在する場合は、表ごとにファイルを作成するか、1 つのファイルに別シートとして作成する。図は、画像ファイル (EPS、TIFF、JPEG などの形式) として作成する。複数の図が存在する場合は、図ごとにファイルを作成する。

### 【校正】

原則として初校の校正は著者が行い、再校以降は編集委員会が行う。著者校正は印刷上の誤りについてだけ行い、内容や図表の変更は認められない。

### 【抜刷】

報文の印刷物 30 部および PDF 版 (論文中の図はカラー) を著者に無料で提供する。

**【投稿者へのお願い】**

今後、「小笠原研究年報」掲載の報文の全文あるいはその一部がインターネット文献検索サイト上に掲載されることも多くなると思われます。小笠原研究委員会宛に要請のあったものについてはできるだけ協力していきたいと考えておりますが、その中には「著作権の処理」をすませておく必要のあるものもあります。そこで、投稿される報文につきまして、あらかじめ電子化・公開することの許諾をいただければと存じます。特にご異存なければ、小笠原研究委員会の Web Site (<https://www.tmu.ac.jp/ogasawara/>) から許諾書のファイル (shoudakusho.doc) をダウンロードし、署名または捺印の上、小笠原研究委員会宛にお送り下さい。なお許諾を頂けない場合はその旨お知らせいただければ幸いです。

以下に示す許諾書をお送りいただいた報文につきましては、東京都立大学の機関リポジトリ「みやこ鳥」(<https://tokyo-metro-u.repo.nii.ac.jp/>) で公開いたします。

---

許 諾 書

小笠原研究委員会 殿

年度「小笠原研究年報」 「Ogasawara Research (小笠原研究)」 掲載の自著報文類の電子化・公開については、これを許諾します。

年 月 日

氏 名：

※著者が複数の場合はこの用紙にまとめて署名していただいても結構です。